

## 令和2年度 事業計画書

公益目的支出計画 及び 定款に則り次の事業を行う。

( ) 内 前年度予算

1. 普及啓発事業 予算総額 385万円 (410万円)
- (1) 文具科学館・資料館 予算額 325万円 (350万円)  
「文具科学館」と「文具資料館」を一体運営することにより、展示効果を高め、文具文化と科学技術の普及啓発事業を推進してきたが、I S O T 日本文具大賞受賞商品など最新の技術・機能・デザインを取り入れた文具商品の展示を本年度も引続き行なっていく計画である。  
紙製品の展示方法を研究し、整備していく計画である。
- (2) その他普及啓発 予算額 60万円 (60万円)  
当財団ホームページからの情報発信内容の充実を強化すると共に、情報公開を更に充実させてゆく。展示商品の維持・保存管理の研究と適切な対処の実施。  
小・中学生に向けて、展示の研究をする。展示ケースの清掃・保湿管理の実施。
2. 助成事業 予算総額 315万円 (324万円)
- 助成金の総額及び分野別の交付額を見直し、併せて効率的な事業運営を図る。
- (1) 助成金交付額 予算額 180万円 (180万円)
- ① 研究開発に対する助成 交付額 60万円 (60万円)  
科学技術に関する研究開発に携わっている者に対する助成金の交付
- ② 青少年創造性開発に対する助成 交付額 70万円 (70万円)  
青少年創造性開発に携わっている者に対する助成金の交付
- ③ 学会・研究会等に対する助成 交付額 30万円 (30万円)  
科学技術に関する学会・研究会などに対する助成
- ③ 国際交流に対する助成 交付額 20万円 (20万円)  
科学技術に関する国際交流に対する助成
- (2) 助成事業運営費 予算額 135万円 (144万円)  
助成に関する各種ノウハウの取得に一層努めるなど事業運営の充実を図る。
3. その他  
一般財団法人への移行後10年目となる当年度は引続き公益目的支出計画の実施を推進すると共に、内部管理体制等の一層の整備、充実を図っていく。

以上